

# 柔道整復総合演習3

科目ナンバー 7C311  
専門分野 必修 1単位

大塚 博史

## 1. 授業の概要(ねらい)

主にリハビリテーション医学の要点を復習します。理解度を測るために確認テストを実施します。また、必要に応じて基礎医学(解剖学・生理学)の重要事項と関連づけて授業を展開します。

また、授業時の質問に対してグループディスカッションして答えてもらいます。

この授業は、DP1に関連します。

本科目は、実務経験のある教員による授業です。担当教員は医療機関(整形外科・リハビリテーション科)で従事しており、授業では、臨床例、課題などを題材とした講義、実習を行います。

## 2. 授業の到達目標

柔道整復師国家試験科目のうち、主にリハビリテーション医学に関する知識を定着させる。

## 3. 成績評価の方法および基準

期末筆記試験(100%)で評価を行い、60%以上を取得した者を合格とします。

2/3以上の出席がない学生の評価は行いません。

全体に対するフィードバックとして、第15回授業でまとめと振り返りを行います。

## 4. 教科書・参考文献

教科書

全国柔道整復学校協会 監修 リハビリテーション医学 改訂第3版 南江堂

## 5. 準備学修の内容

予習としてLMSで指定された課題についてまとめてから授業に臨んで下さい。

教科書の指定の部を読み(授業内容の項目およびLMS)、全体の概要をとらえておき、難読と思われる用語については事前に読めるよう調べて下さい。

復習としてLMSで指定された項目についてまとめ、さらに確認問題を解いて下さい。

おおよそ予習に1時間、課題と問題解答の復習に2時間を見込んでいます。

## 6. その他履修上の注意事項

① 座席は教員が指定します。

② 7.授業内容に沿って授業を進めますが、状況により調整を行う場合があります。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション(国家試験の動向、学習方法について)
- 【第2回】 理解度確認問題と解説(脳卒中:前半)
- 【第3回】 理解度確認問題と解説(脳卒中:後半)
- 【第4回】 理解度確認問題と解説(脊髄損傷:前半)
- 【第5回】 理解度確認問題と解説(脊髄損傷:後半)
- 【第6回】 理解度確認問題と解説(理学療法、作業療法)
- 【第7回】 理解度確認問題と解説(国際障害・生活機能分類、物理療法)
- 【第8回】 前半授業のまとめ
- 【第9回】 理解度確認問題と解説(補装具)
- 【第10回】 理解度確認問題と解説(日常生活動作評価、脳性麻痺)
- 【第11回】 理解度確認問題と解説(リハビリテーション関連制度)
- 【第12回】 国家試験形式演習問題(必修問題対策)
- 【第13回】 国家試験形式演習問題(一般問題対策:前半)
- 【第14回】 国家試験形式演習問題(一般問題対策:後半)
- 【第15回】 後半授業のまとめ